いわき民報

平市田町四八　電三八一番
編輯兼發行人　千輝克己
兼印刷人
日刊　但月曜を除く
定價一ヶ月四十円
一部一円五十錢
發行所
いわき民報社

平檢察廳遂に動く
今野檢事らの御亂行記錄

福島檢察廳の今野佐内檢事が既報の如く丸公海産物市場の調査に來平し、連夜花柳界に耽溺し、原告側ともいうべき情況提供者との亂行ぶりが市民の疑惑をあつめているが福島本廳も事の重大さに捨て置き難く、平檢察廳に對し調査命令が出たものの如く、十一日以來百後上席檢事が調査を開始、今野檢事、大和田、藤田兩事務官の登樓した旗亭、旅館などの足どりと藝者などについて詳細に調査し十四日午後二時三十分發列車で福島檢察廳に向った

◆二日、今野檢事一行來平　杉田松太郎氏の案内で田町末廣旅館に宿泊、同日の來訪者は鈴木市長、阿部助役、矢吹公安委員、杉田松太郎、平海産物共販（丸共）松崎吉太郎、鈴木孝平、松崎嘉一（外一名丸共より清酒二升持參）地區署柴田次席

末廣旅館には二日と三日宿泊し、四日に甲陽館に移ったが末廣旅館の勘定未拂いで、旅館では杉田さんが拂うだろうと語っている

◆四日夜のんき亭　今野檢事、大和田、藤田兩事務官、杉田松太郎ほか三名、藝者花香ほか四名

◆五日夜大貞　今野檢事、大和田、藤田兩事務官、鈴木正雄（市長の三男）材木屋鈴木良平、丸共鈴木孝平、松崎嘉一、矢吹公安委員、杉田松太郎、藝者花香ほか五名

◆六日夜田毎　今野檢事、大和田、藤田兩事務官、杉田松太郎、桑原徹、ほか二名、藝者花香ほか四名

◆七日夜　今野檢事宿へ歸らず行動不明

縣下全署の問題
市署のみを對象とするのは妙だ
何故剩余金届けぬ丸共を調べぬ

車田經濟主任談

平自治警察署の發表に依ると丸公市場が二月から四月まで三ヶ月間に取扱った押收海産物のうち、二月三日から同二十日までは地區署の取締り監督下に屬し、數量五千百十九貫八百匁、金額百二十三万八百九十七円、自治署は同二十一日から四月末日まで擔當し、この數量七千二百二十七貫六百三十匁、金額百七十四万千六百九十円で合計三百七万二千五百八十七円となっている、右について車田經濟主任は語る

三百万円の數上げで百万円の闇はおかしいではないかそれにこの三百万円のうち五分の二は地區署の監督下にあるのだから、調査の對象を自治署にだけ置くのもおかしい、押收品の價格は全部正式な分荷委員會へ討議して決定し、配給も同じ方法に依っている、平署の取扱いに違法ありとせば、郡山、福島若松の各警察ともすべて一致した取扱いを爲しているのだから縣下全署の問題であって、平署はもちろん丸公にも違法行爲は認められない、問題になっている燃配へ鹽サケを廻すよう名刺を書いたのは、當初分荷委員會に於て、市經濟課から野菜集荷の奬勵に鹽サケをやってくれるようと要求され、委員會は承認したが、農家がこれに應ぜず出荷少く豫想外だったので、市經濟課長から「木炭集荷の奬勵に廻してほしい」と要求され、委員會へかける時間がないので名刺を渡し、その後の委員會で正式に承認を受けている、卸賣價格と小賣價格の差益金は、燃配が木炭生産地までの包裝運搬など經費に充當することにし、丸公に保管を命じてある、五月六月は平海産物荷受組合（丸共）が丸公と交代して一ヶ月間同じ押收品の取扱いをしているのに、利益金の處分を願い出た正直者の丸公が怪しまれ、同じ仕事をし、同じ利益を擧げて剩余金をそのまゝにしている丸共が何等取調を受けていないのもどうかと思う

前田山一行大角力を
資金造成に消防協會平支部が

消防協會平支部では十三日市署會議室に管下二十三消防團長會議を開き、支部基金造成に相撲興行を行う事を決定した、即ち同支部では今北海道巡業中の横綱前田山を始め佐賀の花、新鋭東富士、神風等一行二百余名の歸京をとらえ今月二十日頃市營グランドに大角力興行を行い、この純益約十万円を見込んで支部共濟事業の擴充をはかろうと言うので早くも準備に大童でいる、なお防火思想普及の爲十月初旬より郡下各農村に防火宣傳映畫「一〇〇万円の響」を上映させる事も決定した、内容は一日一度半鐘が響けば百万円の損害が生ずるというもので先月湯本消防團の肝入りで三函座で上映好評を得た作品

今野檢事――發表内容果して是か
丸公市場問題を關係者に聽く

平市大工町磐城丸公海産物市場の調査を平にして福島へ引上げた今野檢事は福島の記者團（一部）へ調査内容を發表、不當利得百万円、このほか三百三十円で賣ったものを二百七十円とでたらめを報告していること、市場關係者六十名が伊東溫泉で豪遊していること、市署車田警部補が鹽サケ中一百本を小賣値で燃配へ廻させた等々擧げられているが、右について丸公伊藤專務と車田警部補に聽く

事實は全く違っている
丸公市場には不正更になし

丸公伊藤專務談

百万円以上の闇である樣に發表されて居るが事實は全く違っている何れ檢察廳が明かにしてくれると思うが二、三、四ヶ月に取扱った押收品の利益金（卸値との差格）は約五十一万円でこのうち規程の手數料五分十七万円位が市場の純益である殘りの三十四万九千余円を平市署へ十五万円、地區署十万円、平市社會事業費へ十万円寄附を申込んだが、市役所は受取らなかった、この寄附金の裏面には何等やましいことはない、生産者價格を八十五円とし、卸値を百六十七円四十錢にしたのは正式の分荷委員會で決定しており、横流しの事實もない、百万円という數字はどこにも出て來ないと思う、問題になっている鹽サケ二百本の處分は、市役所の關場經濟課長から野菜の出廻りが惡いから産地へ褒奬に出してほしいとの希望に依って市内五ヶ所の荷受機關を經由し配給することになったが、野菜産地の農家がこれに應じて來ない爲、鹽物でも惡くなるおそれありと處分を計ったところ、これも關場經濟課長から「それでは木炭を集荷するために燃配組合へ褒奬にやってくれ」といわれて配給したものである、三百三十円で賣ったものを二百七十円で報告したとあるのは、恐らく二百七十円の卸値を三百四十円の小賣値で賣りその差額を不當利得したと言問違いでしょう、これは車田警部補の申し入れで差額金は保管してある、六十名の組合員が伊東で豪遊したとあるが、これは組合員懇談の旅と押收品とは何等關係はない、丸公市場にはどこを突いてもほこりは出來ません、一日も早く結末をつけてほしい

分荷委員會構成

◇石城地方事務所◇縣水産事務所◇平自治警察署◇平地區警察署◇郡農業會◇郡水産業會◇市役所◇生活協同組合◇丸公磐城海産物荷受組合◇丸共平海産物荷受組合、消費者代表

分荷委員會は公定價格の明かでない物品の價格決定と配給を決定することになっている

暗雲低迷
丸公以上に疑惑深し

平市には丸公磐城海産物荷受組合と平海産物荷受組合の二ツの機關があり、丸公は石城郡内の魚類を荷受し、平海産物荷受組合は平市内へ入る魚類を荷受けしているが、丸公は指定市場にもなっている關係上平市の入荷物もすべて丸公が一應受けることになる、平海産物荷受組合の下に丸共と稱する平海産物共同組合があって一体化したものである、丸公と丸共は取引關係に於て表面的には兎も角相協力しているかに見えるが、內面的には反目しているものと見られている

×　　×

丸公が取調べの線上に浮び上っているのに、丸共側の組合員が常に今野檢事と酒席を共にしている點注目すべきである、更に丸公の一員である松崎嘉一氏が丸共の松崎吉太郎氏の義弟であり、矢吹公安委員と親交あるなどから押し、丸共並に今野檢事の一行と歡をつくしていることも怪しまれるに充分であろう

×　　×

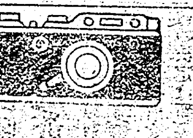
丸公の不正事實を今野檢事に語ったいわゆる情況提供者が矢吹公安委員であった、その後福島檢察廳へ足をしげく通い、五回も今野檢事を訪ねたのは鈴木市長と市議高木喬氏であると藤田事務官は語っている、丸公と丸共の關係と見られるこの事件に何故鈴木市長が深く入っているかしかも「平ではどうしても調べてくれぬから福島から來てくれ」と宿まで提供しているのも不思議だ、これに對し平檢察廳の首後檢事は「丸公事件の取調べを要求した者は二名もない、今野檢事も何等連絡無しで來ている」とふんがいしている

×　　×

鈴木市長が丸公摘發をしたのは丸公の寄附金の仕方が氣に喰はないとか、地區署長がどうしたとか世評に上っているが、本心は丸公事件を明朗化させることにあるのだろう

×　　×

今度の事件を通じ杉田松太郎なる人物が今野檢事につきまとっている、今野檢事は「何等關係ないが、來ているものを追い出す譯に行かん」といっているが、宿で關係者を取調べる際杉田氏を立會させた事實ありと社會黨常磐支部が問題にしているようだ、同人は今野檢事一行を平驛に迎へ末廣旅館に案内したほか常に同席し、甲陽館に移ってからも殆んど影のように、大貞、田毎、のんき亭すべての料理店にも同席しているなど、果して今野檢事のいはれるように何んでもないのかどうかクエッションマークが課せられている（T・N）



御用は良心的の
茂木カメラ
平市平和通り

庶民住宅入居者決る
きのうの市土木委員會席上で

市土木委員會は十三日午後一時より公會堂日本間に開き、先に庶民住宅四棟八戸の建築を請負ながらその後の物價高で採算が合ぬと投出した二名の請負人の違約問題について協議した結果、この分は損失を見込んで平建築組合が工事を進めることに決定、またこの違約者に對しては今後市の請負をさせないことを決め今度出來上った二十二年度市營庶民住宅四十戸の入居者を次の如く決定した

舊城跡小野種之、六間門星野久吉、堂の前鈴木チヤウ、堂の前市警察署、堂の前北川勝三、研町笠原豐樹、八幡小路松崎政治、八幡小路渡邊啓吉、紺屋町宮田美智子、材木町高橋一夫、六人町横山稚則、六人町阿部保、六人町龜谷敏、六人町庄司鏡源、六人町江所弘、三丁目荒谷元八郎、柳町小駒一、白銀町相原正一、白銀町奧村實、南町市警察署

直税課長榮轉
後任は川田保弘氏

（税務署異動）

平税務署直税課長工藤巳之助氏は今回青森税務署直税課長に榮轉となったが出發は二十四、五日ころの豫定後任は本縣人の酒田税務署直税課長川田保弘氏と決った

バター配給

市では十八日より各登錄店舖で人造バターを一人百匁宛一般市民へ配給する、新綜合通帳番號券四號券を使用する

加工水産物登錄日決る
場所は四ヶ所に

市の加工水産物登錄は二十一日午前八時より午後四時まで市役所、第三小學校、第二授前農業協組第二事務所、平強農業協同組合の四ヶ所で行う、今回の登錄では百世帶以上の投票がなければ當選とならない、なお鮮魚の登錄は十七日まで新規業者の立候補がなければ變更登錄のみで濟ませたい方針である

反税運動對策懇談會
平税務署で十六日午後から

平税務署では十六日午後一時より同署樓上に裁判所、檢察廳、管内各警察署長の參集を求め國税犯則取締法第二條で規定されている反税運動者に對する犯罪豫防對策懇談會を開く、最近の課税に對し反税宣傳並に運動をする傾向が强いのでこれらの者に對し今後は前記取締官廳が横の連絡を密接にして行こうとするもので特に取引税は犯則が行はれやすいのでこれらに對しても斷呼たる態度で臨むべく協議する

の石井保臣教授の映畫文化講演會もあり一般の聽講を歡迎している

石城稻門會と早大勿來會

二十一日本社で

石城稻門會並に本校中の早大勿來會の人々は來る二十二日正午から本社ホールに會合、懇談會を開くが、當日は早大

水産加工品
罐詰登錄店
火入海苔
進物用優等鰹節
新盆用本ローソク色々
ト印　伊藤商店
平市四丁目　電528

眞空管と部品の卸
上原時計店
平驛降リテ左五軒目
電22

つきの悪い配給マッチ
平友の會からは遂に改善要求出る

市内舊城跡平友の會（代表叶多嘉子さん）では十四日市配給課に對し最近の配給マッチは質が悪く使用に耐えないものが多いのでこれが改善について市當局より關係者に對し良質マッチのはい給をするよう陳情して貰いたいと、訴えて來た、市では早速この旨を縣へ傳えることになった

萬引娘捕わる

十三日午前十一時ころ市内幟宮町無職宮内ミツ子（二〇）假名は田町洋品店の菊地一郎さん（四六）方店頭から賣物を裝い衍製買物袋二個を万引現行犯で驛前交番館内巡査に御用

女空巣の余罪

ニセ女强盜の訴えをしたばかりに化けの皮をはがされ平市署に留置された女空巣市內白銀町本田重治さん娘分加藤ケサ子（二四）はその後の取調べの結果本年五月十五日午前十時ころ自宅附近の鐵道官舍鐵道員渡邊三郎さん（四七）方から米一斗を盜んだのを手始めに七月初旬ころ南町飲食店大和田政子さん（三四）から米七升と麥二升を續いて二日後には柳町農業谷川長八郎さん（五六）方から子供用パンツ並に現金二百十四円を、更に七月二十四日正月町日雇業根本イノさん（五五）方から麥七升を失敬、その足で田町喫茶店引地鶴治さん（四九）方店先から玉ネギ一貫匁とサイダー空ビン三本を盜んだことも自供した

いわきすゞ言

◆檢察廳のお役人の行動が疑惑のダネ、正しさは神のみが末世のせつなさョ

◆再建を口にして泥試合、迷惑なのは市民大衆のみ、醜草の根は弱いですナ

社員募集
職種　變電所員及事務員各若干名
資格　滿十八才以上三十五才迄身體强健なる男子　扶養家族は二名以内とす
〆切　八月廿五日
右希望者は自筆履歷書及戸籍謄本（若しくは家族全部を含む戸籍記載事項證明書）各一通宛提出のこと
平市五町目二〇（電八六〇）
東北配電株式會社平營業所

有名化粧品と
高級小間物の店
平市銀座通り
メイ化粧品店

夜間部生徒募集
種目　一、裁斷科　一三〇名（洋裁の心得のある方）
一、速成科　一六〇名（洋裁を初歩より修得する方）
入學日　九月一日午後五時
期間　五ケ月（午後六時ヨリ八時マデ授業）
汽車時間（下り）午後四時三十分平着　（上り）午後八時四十分平發
目下願書受附中
公認　平高等洋裁學院
平市紺屋町三二　電六四九

天峰院孝譽殉瑝清居士の新盆に當り時節柄提灯お供物など一切拜辭致します
平市月見二二
佐藤源吉

智勝院瑞光麗雲童女、新盆に際し供物其他御遠慮申上ます
施主　大井川幸隆

米國大統領選擧と安藤對馬守

維新史料、村垣範正日記による ④

史談會員　**鈴木光四郎**

大統領入札論

七月十六日の東京朝日天聲人語に大統領入札論が掲載されていたが新見正興一行の使節團は万延元年うるう三月二十八日に米大統領ブキャナンに謁見した。當時の模様が次のように面白く書かれている

合衆國は宇内一、二の大國なれど大統領は總督にて四年目毎に國中の入札によりて定めけるよしなり。選擧による民主政治は人知の發明した最上の政治形態であるが、幕府の役人はイロハもわからず入札で片づけている。時の大統領ブキャナンとあるがリンカーンの前のジェムスブキャナンのことである、大統領も更に威を張らず、衣服は商人と同じく黒ラシャの筒袖、モモヒキ、格別の飾りもなく太刀もなし。出入の時に警ヒツせず平人と同じとある。封建君主の威壓になれた目には人民から選ばれた大統領のデモクラティックな態度が合點ゆかなかったのであろう。國君にあらざれど御國書も遣されければ國王の禮を用いけるが上下の別もなく禮儀は絶てなき事なれば狩衣着せしも無益の事と思われけると場違いを嘆じている、かかる公館に婦人の出るは怪しみけるが後には國風なること知ると男女平等にも目をみはっている。然し今の人も民主主義がわかったつもりでも實際にはこれとどれほどの差があるだろうか。以上は天聲人語の記事であるが、この日記は安藤對馬守が新見正興と共に平和外交使節として派遣した村垣範正の日記の一部であって當時と今日とを比較するとき興味深々たると共に今昔の感にたえないものがある。万延元年（西紀一八六〇年）は米國にとっても重大な年であって共和黨のリンカーン民主黨のブレッキンリッチが奴隷解放問題を中心としてしのぎをけずって選擧戰に臨んでいたのである、結果は一般投票においては、百八十万票對八十四万票、當選した選擧委員の數においては百八十人對七十二人の差によって、リンカーンが大勝利を得た。本年はデューイー、トルーマン兩候補が外交問題や人種差別撤廢をスローガンとして選擧戰にのぞんでいると新聞は報じている。

遣米使節團の歸國

万延元年四月三日

遣米使節新見正興一行は米國務長官カッスと修好通商條約本書の交換を了した

四月四日

幕府の軍艦かん臨丸はホノルルに寄港した。ついで軍艦奉行木村喜毅等は國王カメハメハに謁見し翌五日歸國のため出港した。

四月十六日

遣米使節新見正興等は歸國の便船についてしばしば米國務長官カッスに交渉した。カッスは軍艦『ナイヤガラ』を一行のために提供するに決した。この日新見は書をカッスに致して速かに歸國せんがためその寄港地を減じて航海を急がれん事を求めた。カッスは之に同意した。

四月十七日

遣米使節新見正興一行は米國大統領ブキャナンに謁して別を告げ二十日ワシントンを去りバルチモーアを經てフイラデルフイヤに赴いた。

四月二十八日

使節團一行はフイラデルフイヤを發してニューヨークに到着した。

五月五日

幕府軍艦咸臨丸は米國より浦賀に歸り明夜品川沖に歸港した。

五月八日

遣米使節新見正興は書を米國務長官カッスに致して先に依頼した邦貨の分析の結果を以て日米通貨の交換率を定めんとの旨を告げた

川内―小川―平市の産業道路の開設急務

木炭需給圓滑化の根本策とし生産地川内村側でも強く要望

木炭の大巾値上げに伴って平市では配給を敬遠する市民が多くなり『ヤミ木炭の方が安く質も良い』と不滿を爆發させる者もいるが市ではこれを需要のすくない季節に値上げを斷行したための一時的現象と見てやはり來るべき冬季に入ればまた深刻な木炭不足が再來するものと豫想をたて全國的に有名な産地双葉郡川内村に上質木炭の出荷を申入れるとゝもに今後恒久的な入荷對策を講ずるため現地側と懇談を進めているこの結果川内村―小川村―平市を結ぶ産業道路の急速な建設が生産、消費兩地とも裨益するところ大なりとして同道路の期成同盟會を結成すべきであるとの結論に到達、特に川内村木炭林産組合ではこれにより今後同村の木炭生産の開發は一層急速調を加えるものとして熱意を示しており三十一日には同林産組合志賀主事が來平、市經濟課にその重要性を強調している

平市も全國的出荷地へ

實現の癌は十文字峠の征服

川内村の木炭年産高は現在四十万俵といはれこの大部分は富岡驛を經て木戸營林署の軌道に依り木戸驛を通じて出荷している、これを地形的に見ると富岡―川内間約七里富岡―平間十里となっており假に前記川内―小川―平の線により出荷するとすれば半分の八里程で到着することになるので大いに便利となり平市の年間消費量をガ々並に業務用も含めて二十三万俵と見ても充分需要を充した上、二十万俵に近い川内木炭が平驛を中心に出荷されることにもなりこの結果全國的に木炭出荷地としての平市がクローズアップされて來ることにもなる然し市の消費量を全部川内に依存せずとも郡内山間部から入荷する木炭も相當あるのでこれを加えれば差引き出荷量は増加するのでそれだけ出荷地としての重要性を加えることになる

この産業道路を川内から小川まで通す間にもっとも大きな癌は上小川村十文字峠の通過であり、これを北側へ迂回するか南側を選ぶかが問題でありこの場合最少限度としてトラックの通過が出來るような道巾は確保しなければならず阿武隈山系の眞中を横斷しようとするだけに相當困難も伴うわけである

實現の場合 四の利點

滯荷一掃や生産の増強等々

然し双方の熱意如何ではこの難關も必ず突破できると現地側では確信しておりこれができ上った場合の有利な條件として

一、川内は雜木が多いので伐採した後は植林をせずとも自然に育つので原木は殆んど無盡藏である

二、未開拓森林地帶は川内と上小川の境界線附近に多く同路線の開通により今後の生産高は一層増加する

三、現在小野新町―川内―富岡を運轉する省營トラックは川内―平間に變更運轉を強く陳情しこれが實現に邁進する、この結果滯貨木炭は搬出距離が短縮されるため一掃される

四、從來富岡驛を主要木炭出荷驛としていたがこの結果同方面の大量な木炭は平驛へ搬出され今後の積出驛が平市へ變更になりそれだけ物産が豐かになる

などの諸點をあげている

期成同盟會 一應結成

平市經濟課談

この道路が出來れば平地方へ相當木炭が出てくるのは當然で現地側の熱望もあるから一應期成同盟會のようなものを作って目的達成に進みたいとも考えている、何せ無盡藏だといはれる同村の木炭を富岡へ搬出せず平へ持って來るのだからそれだけ市民の協力と決心が得る、今年の冬もまた木炭不足でなやむものと思うがこうした恒久的對策こそ必要だと思う

實現すれば出張所設置

志賀河内林産組合主事の談

『質の悪い木炭が出て市民へ迷惑をおかけしたのは申譯ない、今後は滯貨木炭を京濱方面へ向け新しく生産されたものを平市へ向けたい、小川村經由の産業道路建設は是非實行に移したい滯貨をすくなくしただけでも大きな收獲である、若しこれが實現すれば一層生産は上昇しよう、その場合平は木炭積出驛となるので是非當地へ出張所をつくりたいと考えている』

軍扇は新妻氏側に上る

鹿島村のきのうの農地委員會

鹿島村農地委員會は十三日役場に開き、農地調整特別措置法施行に伴って起った小作地所有權爭いを審議の結果、農地委員新妻重喜（四五）氏に所有權ありと認めた、この事は地主箱崎喜敬（四〇）氏が去る昭和二十年九月農調法施行前に小作人箱崎榮（四四）さんが終戰後各地主から土地を取上げられ泣きついて來た新妻重喜氏に小作させる九畝二歩を讓渡してくれと話したところ承知したので九月麥の播種期を前に移讓させたところが同十一月二十三日農調法の施行あり右の耕地は第三期買收にかかった、これをみた新妻氏は未だ他人に耕作させた覺えなしと異議申立て爭いとなったものである

箱崎氏側は再審要求

委員會決定不當と

右に對し箱崎氏側は十四日石城地方事務所を訪れ現地委員會の決定は新妻重喜氏が耕作權拖「[illegible]めぐ[illegible]」（村民の俗語を利用[illegible]印をおして歩いたこと並に箱崎氏側の證人を委員會等が無視の態度をとった為めであるとその不當をならし縣農委に再審議を訴願することになったがその成行は注視されている

裁縫

婦人服　子供服

迅速　優美

常に新しい技術の　新調と更生の店

平和通　**若松洋裝店**　電九二八番

入選盆踊歌

小名濱文協の募集

小名濱町文化會では先般來盆踊歌を懸賞募集中だったが、審査結果がこの程發表された入選作は左のとおり

◇一等、甘さ存ぜぬいわし「じやほどに　目ざし頬刺し主まかせ（野口賞）◇二等なりは細くもあぐりのいわし重い小名濱しよってたつ（鈴木久）◇三等いたこ一枚地獄というが舟は滿船たから船（野々村孤島）◇四等いわきからっ風まともに受けて男度胸の河かせぎ（小濱常司）◇五等千鳥なくなよこく手がにぶる泣いて別れて來たばかり（小濱牧泉）◇六等戀という字をなぎさに書けばよせてかえした波が消す（野口賞）

家庭金物の御用は

マルヘイ商店

平市田町銀座街・電14

太い詐欺娘

―福島縣雙葉郡富岡町織物女工高橋トシ子（二二）は本年一月ころ知人の内郷町小島無職菅波キク子さんの世話で平市片倉製糸工場に入って間もなく會社で服地が配給になるが金がないから譲ってやるよと二千五百円を詐欺、その足で同町綴無職石川ミツ子さん方留守を狙って衣類四點を盗んで實家へ逃げ歸っていたがこの程、菅波さんの告訴から内郷署では地元署に依頼、檢擧

盗癖はやまじ

―内郷町綴字堀坂無職後藤孝彦（二〇）は十三日窃盗罪で内郷署本田刑事に檢擧、同人は窃盗で起訴猶豫中にもかゝわらず去る六日夜八時ころ同町白水字大和田常磐炭礦内郷鑛採炭夫酒井留五郎（三二）方から夏物上衣二枚開襟シャツ一枚、ゴム長一足を盗んでいたもの

砂糖のヤミ買

―十三日午前十一時ころ茨城縣磯原町無職大木義雄（二八）は知人の内郷町白水字入山飯野某から配給砂糖七貫匁を一貫匁四百円の割で買い受け綴驛に來たところを内郷署員に經濟事犯で御用

カメラ

高價買入

平市三丁目本通

タナカ　電五七六

—映畫紹介—

二十一の指紋

—◇17日から世界館で◇—

「七つの顔」「十三の眼」のトリオ、松田定次監督、比佐芳武脚色、石本秀雄撮影、片岡千恵藏主演の大映探偵活劇、千恵藏のふんする名探偵多羅尾伴内が國際港の街を舞台にモヒ中毒の老人や靑年侯爵、或は又腹話術師等に變装して殺人現場に殘された二十一の指紋の謎を解くべく活躍する、その陰に明滅する双性兒の様な女二人（喜多川千鶴二役）や麻藥密輸團の一味等アメリカギャング映畫的ふん圍氣とスリルを滿喫させ様と懸命の演出は大衆向娯樂映畫として歡迎されよう、高田稔、日高澄子、齋藤達雄、大友柳太郎、澤村貞子等の藝達者が助演している

いわき民報案内　有名商店

機械と工具　プーリ　シャフト　メタル

平市四　マルトモビル

佐藤鐵工販賣部

電七三二・本社三六二

正確。安價

時計の店

サービスの街銀座街

サービスの店

誠光堂

平市銀座街　電982

ベアリングとスチールボール

平興業社

平市南町六七　警察署前通り

各種自動車用品販賣

宮本茂商店

平市白銀町　電六二三

パーマネントウェーブ　婚禮着付

水野化粧院

平驛前　電六七八

切削工具　測定工具　ベアリング

合資會社　**スサト商會**

平市才ノ一　電一一八

修理・迅速・丁寧

コロンブス　チエール　ピース　コスモス

各種靴墨取扱

深谷靴店

平市中央通

外務販賣員數名至急募集

御希望ノ方ハ履歴書持參ノ上毎日午前九時ヨリ正午迄當出張所ヘ御出デ下サイ

各種カレンダー卓上日記日表月表九星暦製造販賣

名入特製品御注文ニ應ジマス

中央カレンダー製造販賣元

平市才槌小路二九番地

日月印　**蛟龍印刷株式會社平出張所**

機械工具

ドリル・タップ・ダイス。スパナー類他各種工具

水道用鉛管入荷

平驛前通白銀町15

高平商會

產科　婦人科

◇入院室完備◇

齊藤醫院

院長　齊藤正雄

平市南町　電九〇二

家具ト漆器、佛具特賣

特賣期間（八月七日ヨリ八月十五日マデ）十日間

御位牌御用命ハゼヒ當店ヘ…

早目ニ御下命下サイ

家具　漆器　雜貨　佛具　卸商

平市新川町

伊東家具店

家具製作工場平市大町（電話四六四番）

キモノと洋服…買入　販賣

福屋

（平驛下車左通り角から五軒目）

平市シロガネ町

笠原式チルド　ロール製粉機

瑞光式籾摺機

新津式脱穀機

クボタ發動機

外優良農器具

代理店

動力農機具　販賣修理

正金商會

平市材木町一三

電話九三一番

◇徒弟入用◇